

彩の合気

編集発行
埼玉県合気道連盟

埼玉県合気道連盟機関誌NO.20

新年に向けて

連盟理事長 林 昭男



新年明けましておめでとうございます。埼玉県合気道連盟の理事長に選出され、半年が過ぎました。「各団体の和を重視する」ことを目標として来ました。日本最初の17条の憲法においても「和をもって尊し」と言われています。人は、どうしても「我」が出てしまっていますが、その点をいかに調和させ、バランスを取っていくかが問題点です。

日本の武道の歴史を考えてみても、人と人との殺しあいから出発している。それが戦国の世も終わり、安定した世になるにつれ、精神的、道徳的な面を強く構築していくようになり、「道」が問われるようになってきました。

開祖は、「黄金体化」と言い愛をもってすべてを包み、気をもってすべてを流れるにまかす。その時はじめて、自他一体の「気」「心」「体」の動きが勝ち負けを超越した武産の絶

対の勝ちとなる。この精神性こそが、合気の本質とおっしゃられた。

今の世の中でも、親が子を、子が親を又、隣人どうしが、国と国とが唾みあい、争いをおこしている。こういう現実がある。故に、今、求められてきているのは、真の意味で、和の尊さだと思います。我々は、共にいたわりあい、互いを生かしあう。

共生、協生、強生、教生・・・その為には、厳しい中にも、楽しく合気の稽古をする。どうしたらわくわくした気持ちを出せるか。喜びを感じ稽古をすることに感謝できるか。もっともっと身近に感じる事が出来るか。こんな事を考えながら、これからの連盟を考えて行きたいと思っております。

(平成18年1月1日)

当面の県連予定

◎県連理事会

日時：平成18年4月23日(日)

12:30~13:30

場所：さいたま市記念総合体育館サブアリーナ

◎第21回県連少年錬成会(理事会同時開催)

日時：平成18年4月23日(日)

14:00~16:00

場所：さいたま市記念総合体育館サブアリーナ

◎第24回県連定期総会

日時：平成18年6月4日

18:00~19:00

場所：さいたま市民会館うらわ6階605号室

懇親会：浦和ロイヤルパインズホテル5階

19:00~

◎第24回県連合同講習会

日時：平成18年7月2日(日)

14:00~16:00

場所：越谷市総合体育館

石垣道場

関谷廣治

合気道は我々に間違いなく幸運をもたらす武道であると確信している一人である。言うまでもなく合気とはこの宇宙天地大自然を創り、一瞬の狂いも間違いも無く運行させ、あらゆるものに生々化育を促し永遠の繁栄を司さどっている言わば大宇宙神の心に自分の気と心を合わせることである。

そして我々は合気道の稽古に励むことによって意識的無意識的に大宇宙の心に自分の気を合わせているのであるから、その結果、宇宙大自然の心気に自分の気が合して、何の心配も不安も悪い事も起こりよ



うがないのである。この素晴らしい宇宙天地大自然の心に悪い事や、間違っただけなどある訳が無いからである。然して稽古に励み合気道を実践すれば、必ず人間性は向上し、結果として、健康も幸運も向こうから来てくれることに気がつくのであります。

まこと政治家にしる経済人にしる社会的に功成り名を遂げた方々の前歴を見ると殆どの方が若い頃に合気道にめぐり会って、一生懸命に稽古をされたようです。

この様な世界に冠たる合気道を創始された開祖というお方は実に素晴らしい方

だと思えます。

かくして、稽古が進み段級位が上がるにつれて、自分が合気道と一体になったような気持が生じて、俺が合気道だ、合気道が俺だという気持になります。

事実合気の心は人生のあらゆる面で利用応用が利くと思えます。こんな合気道を思う存分稽古が出来る環境に在る方々は、家族や家庭に心から感謝しなければと私は思えます。かくして自分が立派になってゆくにつれて、自然に世のため人のためになる行動をするようになってゆくのだと思えます。

私は若い方々に稽古が多少厳しくとも初段まで辛抱して見ろ、必ず気持が変わるからと言ってあげます。今の世の中余りにも悪くなりすぎて、一体何を信じて良いか判らない状態ですが、この天地の心大宇宙の根源に自分の気を合わせるといふ、壮大で荘厳な合気の心を養う合気道の実践こそ絶対に間違いなく、且つ我が国の将来にとって必要な事と確信して居ります。

(平成17年12月20日)



越谷市合気道連盟

伊藤麻由美

私と合気道

私が合気道と出会ったのは、次男が「越谷市合気道連盟」に入会し、稽古の送迎の時に見学していた事からでした。その時に一般の稽古を見る機会があり、渡邊師範の姿を見て、身体が震え、今まで味わった事のない感情が湧き上がってきて、言葉では表現できない位感動しました。

あとで連盟の方に尋ねてみると「師範の気ですよ。」と言われました。そして、渡邊師範に「私も合気道ができますか?」とお聞きしたところ「誰にでもできますよ。」とニコリ微笑んで言われたお顔を今でも忘れる事ができません。

その後、長男と共に入会し親子3人、少年部での稽古を始めました。今まであまり運動経験の無い私は、目で見て身体で技を表現する事の難しさを痛感する毎日でした。

ある有段者の方に「どうしたら、上手くなりますか?」と質問したところ、「休まず稽古を続ける事だよ。」と言われました。師範からは「強さを求めず、上手くなる事を考えなさい。稽古は身体作りだよ。」と言われました。その言葉を胸に刻み、稽古に励みました。



連盟の稽古では、少年部から子供たちと一緒に畳敷きから始まり、受身や基本技を繰り返し練習しました。「本部道場」や「獨協大学合気道部」にも通った事もあり、少しは合気道らしくなってきたかなと思っています。

私もいつの間にか子供たちから「伊藤ママ教えて。」と言われるようになり、教える立場での基本の大切さを実感しました。

昨年には初段を頂くことができ、渡邊師範、連盟の方、子供達、多くの方々に感謝の気持ちでいっぱいです。これからも親子共々合気道に精進し、合気道の精神を生かし皆さんのお役に立ちたいと思っています。

合気会 当面の主な日程

- 4月29日(土)
合気神社大祭 (岩間)
- 5月27日(土)
第44回全日本演武大会
- 7月23日(日)
第28回全日本少年合気会錬成会



蓮田合気会

高松正勝

「新年の抱負」

新年明けましておめでとうございます。
おかげさまで、蓮田合気会は昨年、創設10周年を迎えることができました。

蓮田合気会は現在小学生から60歳を越える男女まで幅広い年齢の人たちが週3回の稽古を和気藹々とやっております。会員も大人30名、子供10名と増えて、道場が狭く感じられるようになりました。

こうやって会を継続・発展させることができたのもひとえに本部道場・道主の御高

第43回 全日本合

日時：平成17年5月28日（土） 開

主催：財団法人合気会 協賛：全日本合気道連盟 後援：文部科学省・東京都教育委員会



配のおかげと思いありがたく感謝致しております。3年前、当時会長の萩谷福太郎先生がなくなられた時は、会がどうなるか心配でした。現在、本部道場指導員の佐々木貞樹先生に週に一度直接ご指導をいただけるという極めて恵まれた環境にあります。このありがたいお心に答えるべく、我々も日々一生懸命稽古に励んでおります。

例年、鏡開き、岩間の大祭、全日本合気道演武大会、県連講習会等の行事に参加させていただいておりますが、昨年は初めて青少年錬成会に参加致しました。また親睦の芋掘り大会を実施することができました。

今年は、稽古に励み我々の実力を付けていくのと同時に、次の蓮田合気会を担っていく若手や子供たちの育成に力を入れていきたいと思っております。

狭山市合気道教室

山本久則

「新年の抱負」

新年明けましておめでとうございます。
狭山市合気道教室は、平成2年9月に合気道自然館初代・吾妻久朝館長により開設され、狭山市武道館において毎週土曜日、午後1時15分から2時15分の1時間、「自然に、無理なく、争わず」を基本方針に、子供たち主体で稽古しています。

昨年は、埼玉県合気道連盟主催の少年錬成大会に7名が、全日本少年合気道錬成大会には9名が参加しました。また、見学の父兄の数も少しずつですが増えてきています。

以前は、参加人数も少なくまた、参加できない時期もありましたが、今年も、昨年も増して多数が参加できるように普段の稽古から子供たちに呼びかけていこうと思っています。

年末には、自然館吾妻正義館長により全員の審査が行われ、その結果、それぞれの昇級が認められ青帯が3人となりました。

年明けからの稽古は、各級の子供たちが合気道の技だけではなく、道場での作法、道着の着方、帯の締め方などもきちんとできるように、また、道場の中だけではなく、学校生活でも家庭生活でも合気道が生かせるよう稽古に励みたいと思います。

最後になりますが、埼玉県合気道連盟の皆さん、事務局の浦和合気会の皆さん、今年も大変お世話になることと思っておりますのでよろしく願いいたします。

